

野角 満昭 議員

日本共産党議員会

本市経済の活性化のため
地域内再投資力向上の取り組みを

Q 本市経済政策の中核として、中小企業振興基本条例の早期制定が重要であると思うが、その考えは。

A 本市としては、坂出商工会議所と連携を図る中で、小規模事業者が地域で精力的に経営を続けられる体制の構築のため、鋭意検討しています。

現在、坂出商工会議所が国から経営発達支援計画の認定を受け、市内の全小規模事業者を対象に実施したアンケート調査の結果が平成28年度中に取りまとめられる予定です。その結果をもとに中小企業の振興策を講じる上で必要な、真の課題や問題点の把握に努めていきます。

(建設経済部長)

質問の項目
・ 施政方針と地方創生について
・ 就学援助制度について
・ 広報さかいで配布率の向上について



ついで

先進地事例を参考に
有効な就学援助制度の創設を

Q 栃木県日光市の入学資金貸付制度や福岡県福岡市の入学準備金の入学前支給など、他市では小中学校に入学予定の児童生徒に対する独自の就学援助制度があるが、本市においても取り組む考えはあるか。

A 経済的に困窮している保護者の利便に資する極めて有効な制度であると考えられますが、本市をはじめとする県内市町では、入学後の給付に留まっています。

入学前の給付等についてはまだまだ全国的にも実施例が少ない事例であり、今後、全国的な動向や先進事例を参考にしながら、導入については十分に検討していきたくと考えています。

(教育部長)



松成 国宏 議員

公明党議員会

旧市立病院跡地の活用予定は

Q 旧市立病院跡地は市の中心部にあり、その周辺環境も含め、非常に価値の高い土地である。本市のブランドデザインとも関連する非常に重要な判断も伴うが、今後の活用予定についてどのように考えているのか。

A 旧市立病院の建物解体撤去については、新年度の病院事業会計当初予算に計上しているところであり、新年度の早期に解体工事に着手し、年度内には本館等の撤去を完了したいと考えています。

(総務部長)

旧市立病院の跡地活用については、昨年策定した「坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも掲げているように、「活力と交流のある、住みたいまちづくり」につながる本市の活性化を促進するような活用方法が望ましいと考えており、様々な方向から検討をすすめているところです。

(市長)

質問の項目
・ 選挙制度改革について
・ 女性の活躍の促進について
・ 脳脊髄液減少症について



増加する外国人観光客の
受け入れ環境の充実を

Q 外国人観光客が増加傾向の中、利便性向上のために、無料のWiFiスポットを設置する取り組みが全国の自治体で広がっているが、本市の状況は。

A 香川県などが観光客向けの無料のWiFiスポット「かがわWiFi」を運営しており、スマートフォンなどのメールアドレスを登録することで、1回30分、1日8回、最大で240分間無料でインターネットが利用できます。

市内では瀬戸大橋記念館など、33カ所ですでに利用できますが、瀬戸内国際芸術祭期間中は、沙弥島会場をはじめ、西ノ浜でも「かがわWiFi」が利用できるようになりました。今後も外国人観光客の受け入れ環境の充実に取り組んでいきます。

(建設経済部長)

